

実践記録

学校/学年	小学校 / 5 年	
教科等：単元名	総合的な学習の時間：「情報社会の倫理について」	
キーワード	情報モラル	
情報モラル指導 モデルカリキュ ラム表における 目標	分類	☒ 情報社会の倫理 ☐ 法の理解と遵守 ☐ 安全への知恵 ☒ 情報セキュリティ ☐ 公共的なネットワーク社会の構築
	大目標項目数字 大目標項目内容	a 3 発信する情報や情報社会での行動に責任をもつ
	中目標項目番号 中目標項目内容	a3 - 1 他者や社会への影響を考えて行動する
授業会場	☐ パソコン教室 ☒ 普通教室 ☐ 特別教室〔 〕 ☐ その他〔 〕	
学習の目標	「情報モラル」という言葉を知り、著作権の内容・情報の発信・安全なネットの使い方について理解できる。	
使用教材	教材名	事例で学ぶネットモラル
	製作者	広教（広島県教科用図書販売株式会社）
	入手先(URL 等)	長野市情報モラルポータルサイト「事例で学ぶN e t モラル」

○ 展開案

	学習活動	指導 評価
導 入	1 「情報モラル」という言葉を知る。 テレビ、ラジオ、パソコン、本など。	・ 情報をどのように入手しているかを問う。 ・ モラル（道徳・規律を情報を得る側・発信する側が守っていく大切さに目を向ける）。
展 開	2 「事例で学ぶネットモラル」より、子どもたちが身近に直面しそうなことを取り上げ、考え合う。 （著作権・著作権の利用・情報の発信の責任・え！こんなひとだったの！）	・ 大型テレビを使って提示する。 ・ 映像が一通り終わったら、「何が問題か」を話し合わせる。 例：許可なく使わないこと。大人と行う。困ったら相談する。正確な発信をする。
お わ り	3 今日、学習をしてみて感じたり、考えたりしたことを発表しあう。 （学習カードに記入）	・ 学習カードを記入して、発表する。 「情報モラル」の重要性に気づけたか。

○ 授業の成果

- ・ 子どもたちの感想では、「大切なことをきちんと守っていきたい。」「自分でよく考え、判断して行動したい。」などが出された。ふだんの学習の中でも少しずつ「情報モラル」につながることは、触れてきたが、具体的な事例に基づいて「情報モラル」について、考え合うことができてよかった。今後も、様々な事例を通して、考えあい、児童へ問い返していきたい。

○ 指導のポイント・留意点

- ・ 「危険」「怖い」というだけではなく、正しく有効に使うよさを考えさせていく。